

2011年日本語能力試験

しけんび
試験日
だいにかいしけん
第2回試験 : 12月4日(日)
じっし
実施レベル
N1からN5の5レベル

もうこ
申し込みは
はや
お早めに！

もうこ
申し込みの締め切りは、しけんびやくげつまえ
試験日の約3か月前です。申し込みの方法や締め切りなど、くわしくはしけんう
試験を受ける
くにちいきじっしきかんかくにん
国・地域の実施機関に確認してください。

しけん
試験についての
あたらしい
新しい情報は
こちら！

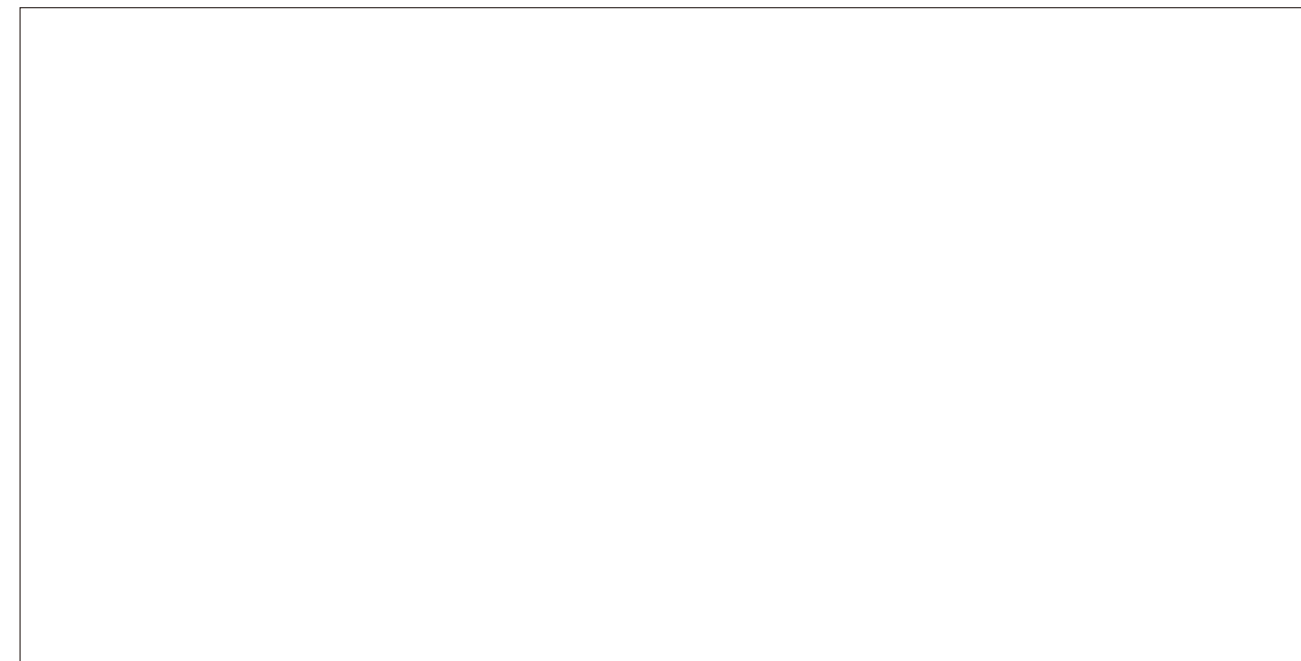


ウェブサイトの案内

にほんごのうりよくしけんこうしき
日本語能力試験公式ウェブサイトには、受験手続きや試験の
じっしとしじっしきかんじょうほうくわ
実施都市・実施機関の情報に加えて、新しい日本語能力試験に
ついでのくわしい説明やレベル別の問題例など、たくさんの
じょうほう
情報がのっています。ぜひアクセスしてください。日本語版、
えいごばんちゅうごくごばん
英語版、中国語版があります。

<http://www.jlpt.jp/>

じっしきかん
実施機関
じゅけんあんないかき
(受験案内は下記の機関にあります。)



2011.06

Japanese- Language Proficiency Test

にほんごのうりよくしけん

日本語能力試験
JLPT Japanese-Language
Proficiency
Test

<http://www.jlpt.jp/>

ねんじっしあんない
2011年 実施案内

がつよっか
12月4日

日本語能力試験とは？

世界最大規模の日本語の試験です

日本語能力試験は、原則として日本語を母語としない人を対象に、日本語能力を測定し、認定するための試験です。試験は日本国内そして世界各地で、1年に2回、一斉に実施されます。

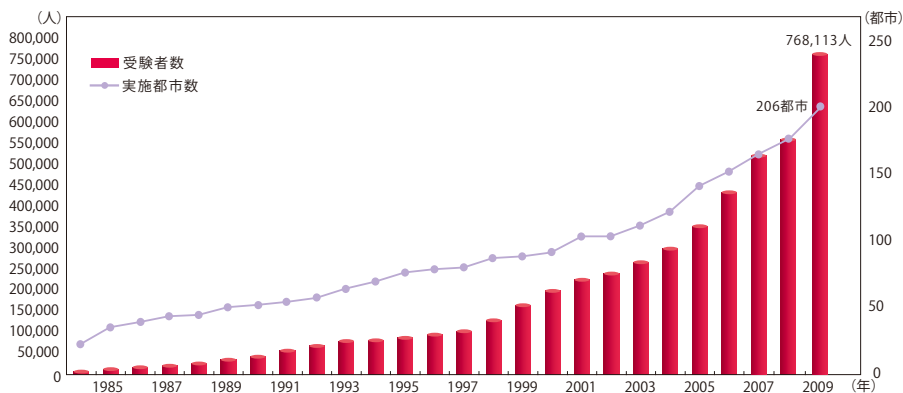
日本語能力試験は1984年に始まりました。このときは、世界15の国・地域で約7千人が受験しましたが、2009年には、世界54の国・地域で約77万人が受験しました。現在、世界最大規模の日本語の試験となっています。

※日本語能力試験は、2008年までは12月の年1回でしたが、2009年からは7月と12月の年2回となりました。ただし、海外では、7月の試験は行わないで、12月の試験だけを行う都市があります。

日本語能力試験の実施都市(2009年第2回(12月)試験) ●実施都市



受験者数・実施都市数



さまざまな目的のために役に立つ試験です

国際交流基金が3年ごとに実施している「海外日本語教育機関調査」によると、海外の日本語学習者数は、

1979年には約12万7千人でしたが、2009年には約365万人になりました。

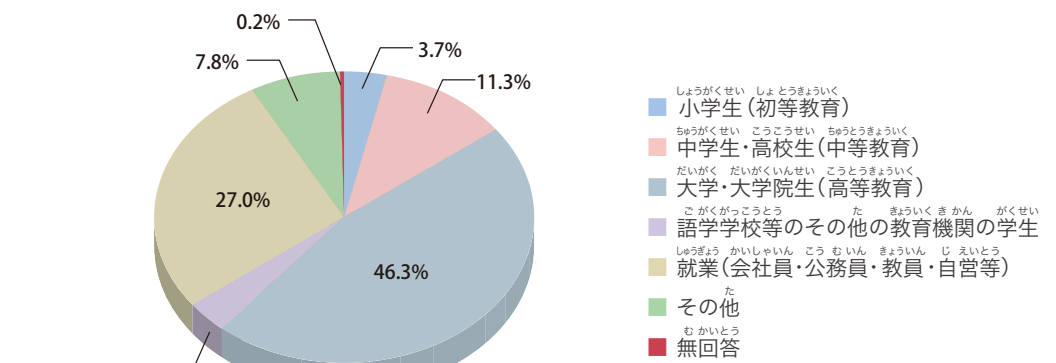
日本語学習者数が増えると共に、日本語能力試験の受験者数も増えました。現在では、小学生から社会人まで、さまざまな年齢の人が日本語能力試験を受験して

います。また、日本語能力試験は、実力の測定だけではなく、就職・昇給・昇進、資格認定への活用など、さまざまな目的のために活用されています。

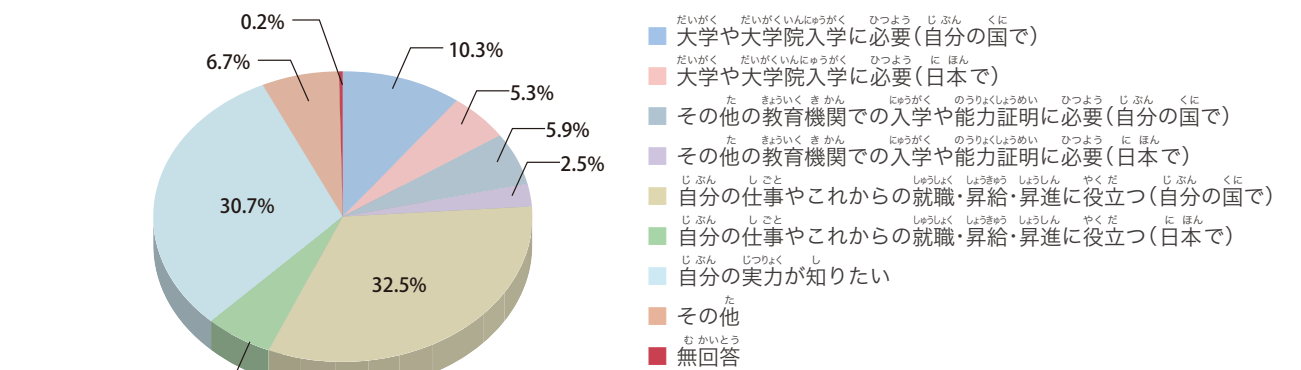
海外の日本語学習者数



受験者の内訳



受験の目的



※回答者：2009年第2回(12月)試験の海外の受験者(有効回答者数423,961人)。国際交流基金が実施した海外52か国・170都市が対象。

新しい日本語能力試験の特徴

2010年から、新しい日本語能力試験が始まりました。

日本語能力試験には、20年以上の歴史がありますが、この間に日本語を勉強する人が増えて、何のために日本語を勉強した
り使ったりするかが変わってきました。そこで、このような変化に合わせて、2010年第1回(7月)試験から日本語能力試験を
改定しました。新しい日本語能力試験(新試験)は、これまでの試験(旧試験)を引き継いで、新たな改定を加えた試験です。

新しい日本語能力試験の4つのポイント

ポイント1 コミュニケーション能力を重視した試験です

新試験では、①日本語の文字や語彙、文法についてどのくらい知っているかだけではなく、②その知識を実際のコミュニ
ケーションで使えるかも大切です。そこで、①を「言語知識(文字・語彙・文法)」、②を「読解」と「聴解」という
試験科目によって測ります。新試験はこれらの組み合わせにより、総合的に日本語のコミュニケーション能力を測る試験
になりました。

※解答は旧試験と同じマークシート方式です。話したり、書いたりする能力を直接測る試験科目はありません。

ポイント2 レベルは5段階、自分に合ったレベルが選べます

新試験のレベルは5段階(N1、N2、N3、N4、N5)です。できるだけき細かく日本語能力を測るために、試験問題はレベ
ルによって違います。
旧試験ではレベルは4段階(1級、2級、3級、4級)でした。新試験では、旧試験の2級と3級の間に新しいレベルがひ
とつ増えて5段階になったので、より自分に合ったレベルを選んで受験できるようになりました。

● 認定の目安と新旧試験のレベルの対応

レベル	認定の目安	新旧試験のレベルの対応(参考)
N1	幅広い場面で使われる日本語を理解することが できる	合格ラインは旧試験の1級とほぼ同じ。ただし、旧試験の 1級よりやや高めのレベルまで測れるようになる
N2	日常的な場面で使われる日本語の理解に加 え、より幅広い場面で使われる日本語をあ る程度理解することが できる	旧試験の2級とほぼ同じレベル
N3	日常的な場面で使われる日本語をある程度 理解することが できる	旧試験の2級と3級の間のレベル
N4	基本的な日本語を理解することが できる	旧試験の3級とほぼ同じレベル
N5	基本的な日本語をある程度理解することが できる	旧試験の4級とほぼ同じレベル

※認定の目安のくわしい内容は6ページをご覧ください。

ポイント3 尺度得点で日本語の能力を正確に測ります

新試験では、受験者の日本語能力がより正確に得点に表れるようにするために、得点の出し方を変えました。「素点」で
はなく、「尺度得点」で得点を出します。
旧試験の得点は「素点」でした。これは「何問正解したか」をもとに計算する得点です。試験問題は、どんなに注意して
作っても、毎回少しずつ難しさが変わります。ですから、素点の試験では、試験が難しかったときと易しかったときと
では、同じ能力でもちがう得点になることがあります。
新試験の「尺度得点」は、受験者ひとりひとりがどのような問題にどのように答えたか(どの問題に正解して、どの問題
をまちがったか)を調べて、それぞれのレベルの尺度(ものさし)の上で計算して得点を出します。同じレベルの試験は、
いつも同じ尺度(ものさし)を使って計算します。ですから、試験が難しかったときでも易しかったときでも、どの回の
試験でも、同じ能力なら同じ得点になります。
このように、尺度得点を使うと、試験を受けたときの日本語能力をより正確に、公平に、得点に表すことができます。

※尺度得点についてもっとくわしく知りたい人は、日本語能力試験公式ウェブサイト(www.jlpt.jp)をご覧ください。

試験結果の通知

受験者には、合格・不合格、得点区分ごとの得点と総合得点(尺度得点)、
そして参考情報を書かれた「**合否結果通知書**」を送ります(得点区分につ
いては5ページをご覧ください)。
参考情報は、得点区分が、「言語知識(文字・語彙・文法)」のように、複数
の要素で構成されているとき、そのそれぞれの要素(文字・語彙と文法)
の正答率[※]をA～Cの3段階で表示するものです。
これにより受験者は、何がどのくらいできたかがわかり、今後の日本語学習
の参考にすることができます。
[※]正答率とは、各要素の問題数全体に占める、正解した問題数の割合のこと。
なお、参考情報は、「何問正解したか」を表す情報であり、尺度得点とは異
なります。合否判定の対象にはなりません。

	得点区分(尺度得点)	参考情報(正答率)
● N1、N2、N3……	言語知識(文字・語彙・文法)	→ 「文字・語彙」と「文法」
● N4、N5……	言語知識(文字・語彙・文法)・読解	→ 「文字・語彙」と「文法」と「読解」

ポイント4 日本語を使ってどんなことができるかがイメージしやすくなります

各レベルの合格者が、日本語を使って、どのようなこと(聞く・話す・読む・書く)ができると考えているかを調査して
います。その結果は「日本語能力試験Can-do自己評価レポート」として、まず2011年7月に中間報告を行い、2012年
3月には最終報告をまとめます。受験者やまわりの人々は、このレポートを、「このレベルの合格者は、学習・生活・仕事の
場面で日本語を使ってどんなことができそうか」のイメージ作りの参考資料として使うことができます。

試験の構成と認定の目安

試験科目と試験時間・得点区分と得点の範囲

試験を受けるときの試験科目は、左の表「試験科目と試験時間」のとおりです。

試験の結果をもらうときの得点区分は、右の表「得点区分と得点の範囲」のとおりです。

試験科目と試験時間

レベル	試験科目	試験時間		得点区分	得点の範囲(尺度得点)
N1	言語知識(文字・語彙・文法) ・読解	110分		言語知識(文字・語彙・文法)	0～60点
	聴解	60分		読解	0～60点
N2	言語知識(文字・語彙・文法) ・読解	105分		言語知識(文字・語彙・文法)	0～60点
	聴解	50分		読解	0～60点
N3	言語知識(文字・語彙)	30分		言語知識(文字・語彙・文法)	0～60点
	言語知識(文法)・読解	70分		読解	0～60点
	聴解	40分		聴解	0～60点
N4	言語知識(文字・語彙)	30分		言語知識(文字・語彙・文法)	0～120点
	言語知識(文法)・読解	60分		読解	
	聴解	35分		聴解	0～60点
N5	言語知識(文字・語彙)	25分		言語知識(文字・語彙・文法)	0～120点
	言語知識(文法)・読解	50分		読解	
	聴解	30分		聴解	0～60点

試験科目と得点区分との対応は、二つの表を左から右へ見てください。

N1とN2では、一つの試験科目の「言語知識(文字・語彙・文法)・読解」が、得点区分では「言語知識(文字・語彙・文法)」と「読解」の二つに分かれます。

N3では、二つの試験科目の「言語知識(文字・語彙)」と「言語知識(文法)・読解」が、得点区分では「言語知識(文字・語彙・文法)」と「読解」に分かれます。

N4とN5では、二つの試験科目の「言語知識(文字・語彙)」と「言語知識(文法)・読解」が、得点区分では「言語知識(文字・語彙・文法)・読解」の一つにまとまります。

「聴解」は、試験科目と得点区分とが、どのレベルでも一致しています。

レベルによってちがいがあるのは、各レベルの学習段階の特徴に合わせて、より正確に日本語能力が測れるようにしているためです。

認定の目安

各レベルの認定の目安は下の表のとおりです。「読む」、「聞く」という言語行動で表しています。

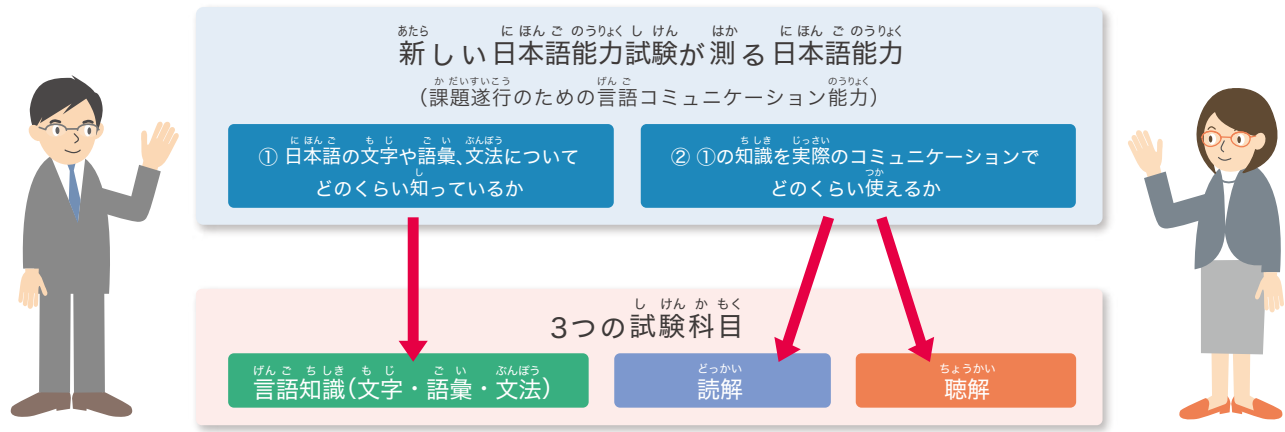
表には書かれていませんが、これらの言語行動を実現するための言語知識も必要です。

レベル	認定の目安
N1	幅広い場面で使われる日本語を理解することができる よ読む - 幅広い話題について書かれた新聞の論説、評論など、論理的にやや複雑な文章や抽象度の高い文章などを読んで、文章の構成や内容を理解することができる。 - さまざまな話題の内容に深みのある読み物を読んで、話の流れや詳細な表現意図を理解することができる。 き聞く - 幅広い場面において自然なスピードの、まとまりのある会話やニュース、講義を聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係や内容の論理構成などを詳細に理解したり、要旨を把握したりすることができる。
N2	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる よ読む - 幅広い話題について書かれた新聞や雑誌の記事・解説、平易な評論など、論旨が明快な文章を読んで文章の内容を理解することができる。 - 一般的な話題に関する読み物を読んで、話の流れや表現意図を理解することができる。 き聞く - 日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができる。
N3	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる よ読む - 日常的话题について書かれた具体的な内容を表す文章を、読んで理解することができる。 - 新聞の見出しなどから情報の概要をつかむことができる。 - 日常的な場面で目にする難易度がやや高い文章は、言い換え表現が与えられれば、要旨を理解することができる。 き聞く - 日常的な場面で、やや自然に近いスピードのまとまりのある会話を聞いて、話の具体的な内容を登場人物の関係などにあわせてほぼ理解できる。
N4	基本的な日本語を理解することができる よ読む - 基本的な語彙や漢字を使って書かれた日常生活の中でも身近な話題の文章を、読んで理解することができる。 き聞く - 日常的な場面で、ややゆっくりと話される会話であれば、内容がほぼ理解できる。
N5	基本的な日本語をある程度理解することができる よ読む - ひらがなやカタカナ、日常生活で用いられる基本的な漢字で書かれた定型的な語句や文、文章を読んで理解することができる。 き聞く - 教室や、身の回りなど、日常生活の中でもよく出会う場面で、ゆっくり話される短い会話であれば、必要な情報を聞き取ることができる。

あたらしいほんごのうりよくしけんもんだいいい

新しい日本語能力試験の問題例

あたらしいほんごのうりよくしけん
新しい日本語能力試験では、「日本語の文字や語彙、文法についてどのくらい知っているか」を「言語知識(文字・語彙・文法)」で、「その知識を実際のコミュニケーションでどのくらい使えるか」を「読解」と「聴解」で測ります。



しんしけんはか
新試験が測るのは、「課題遂行のための言語コミュニケーション能力」です。この能力を測るために、旧試験の問題形式をすべて見直して、改定しました。問題形式には、旧試験からそのまま引き継いだもの、部分的に変えたもの、新試験から新しく取り入れたものがあります。では、新しい形式の問題を中心に、新試験の問題例を見てみましょう。

げんごちしきもじこいぶんぼう
言語知識(文字・語彙・文法)

もじこい
文字・語彙

レベル：N 3
大問：用法

問題 つぎのことばの使い方として最もよいものを、1・2・3・4 から一つえらびなさい。

かわいがる

1 山田さんは子どもをとてもかわいがっています。

2 あの人は親をとてもかわいがっています。

3 田中さんは、いただいた時計をとてもかわいがっています。

4 あの人は自分の家をとてもかわいがっています。

【答え：1】

げんごちしきもじこいぶんぼう
言語知識(文字・語彙・文法)

ぶんぼう
文法

レベル：N 2
大問：文章の文法

問題 次の文章を読んで、文章全体の内容を考えて、**1**から**5**の中に入る最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

街にはおもちゃがあふれています。贈り物におもちゃを買おうと思っても、おもちゃ屋に並ぶ多種多様なおもちゃの前でどれを選んだらいいか迷ってしまったという方もいるかもしれません。

そこで、ある団体が、おもちゃを選ぶ時の参考にしてもらおうと、毎年、**1**の中から優良なおもちゃ、「グッド・トイ」を選定しています。お店で見てすぐにわかるように、選定されたグッド・トイには**2**ので、おもちゃを買うときにも参考になります。

グッド・トイ**3**、「遊び力」を引き出してくれるのだそうです。「遊び力」というのは、見る力、聞く力、感じる力、コミュニケーションする力、夢見る力。人が生きていくのに必要な力のことです。

グッド・トイの選考では、まず推薦されたおもちゃをいろいろな年代の人に実際に遊んでてもらい、専門家が遊ばれ方を見て評価をします。その後も様々な視点から何度も検討を重ねてグッド・トイは選定されています。

おもちゃというと、ただ子どもが遊ぶためのものだと**4**。塾や参考書は熱心に選んでも、おもちゃを真剣に選ぶという方はあまり多くないのではないのでしょうか。**5**、おもちゃには大きな力を持つものがあります。次におもちゃを選ぶ時は、グッド・トイのように、生きる力を引き出してくれるものを探してみたいかがでしょうか。

1 1 たくさんのおもちゃ 2 選んだ贈り物 3 数あるおもちゃ 4 迷ったおもちゃ

2 1 グッド・トイマークがつけられていきました 2 グッド・トイマークがつけられています 3 グッド・トイマークをつけておきました 4 グッド・トイマークをつけてみます

3 1 が 2 に 3 とか 4 とは

4 1 考えられつつあります 2 考えられがちです 3 考えられてはいません 4 考えられなければいけません

5 1 しかし 2 それどころか 3 すなわち 4 さらに

【答え：1 3 2 3 4 4 2 5 1】

どっかい
読解

レベル：N 1
大問：統合理解

問題 次のAとBはそれぞれ別の新聞のコラムである。AとBの両方を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

A

1 AとBのどちらの記事にも触れられている内容はどれか。

1 新たに盛り込まれた語の意味

2 選定する時検討された語の数

3 今回新たに収録された語の数

4 今回不採用だった語の具体例

2 この辞書が多くの新語を取り入れたことについて、Aの筆者とBの筆者はどのような立場をとっているか。

1 AもBも、ともに明確にしていない。

2 AもBも、ともに批判的である。

3 Aは批判的であるが、Bは明確にしていない。

4 Aは明確にしていないが、Bは批判的である。

B

【答え：1 3 2 4】

(注1) 改訂：本や辞書を直して新しく出版すること

ちょうかい
聴解

レベル：N 4
大問：発話表現

問題 このもんだいでは、えを見ながら しつもんを聞いて ください。➡(やじるし)の人は何と 言いますか。

1から3の中から、いちばん いい ものを一つ えらんで ください。

(スクリプト)

しごと おわって帰ります。何と言いますか。

1 お邪魔します。

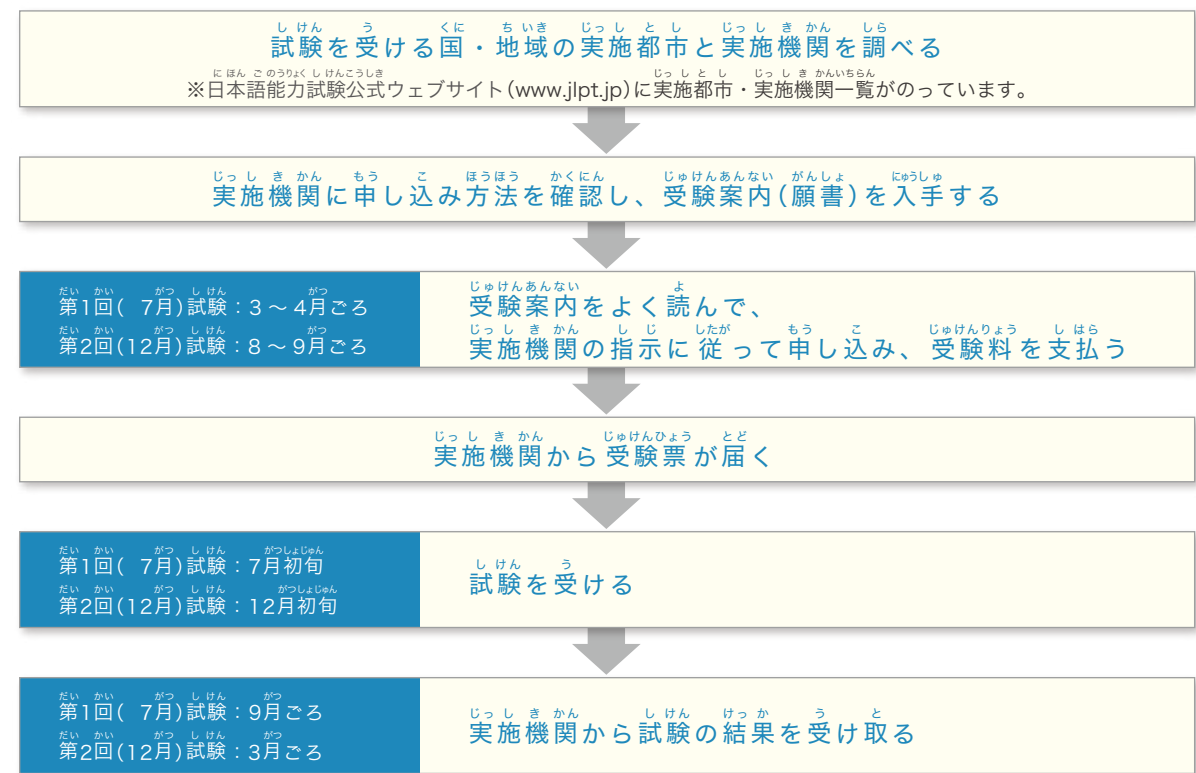
2 お大事に。

3 お先に失礼します。

【答え：3】

※大問とは、同じ問題形式ごとの問題のまとまりです。各レベルの大問の構成は日本語能力試験公式サイト(www.jlpt.jp)を見てください。また、ウェブサイトには、すべてのレベルのすべての大問の問題例がのっています。

受験手続きの流れ：海外で受験する場合



※これは、海外における一般的な手続きの流れです。国・地域によって異なることがありますので、くわしくは実施機関に確認してください。また、海外では、7月の試験は行わないで、12月の試験だけを行う都市があります。受験したい都市で7月の試験を行うかどうかは日本語能力試験公式サイト(www.jlpt.jp)を見てください。
※日本国内で受験する場合は日本国際教育支援協会のウェブサイト(<http://www.jees.or.jp/jlpt/>)を見てください。

よくある質問

Q1 日本語能力試験はどんな人が受験できますか。

日本語を母語としない人なら、だれでも受験できます。年齢などの制限はありません。

Q2 試験はいつ実施されますか。

7月と12月の年2回です。2011年は、第1回が7月3日(日)、第2回が12月4日(日)です。ただし、海外では、7月の試験を行わないで、12月の試験だけを行う都市があります。受験したい都市で7月の試験を行うかどうかは、日本語能力試験公式サイト(www.jlpt.jp)を見てください。

Q3 受験申し込みのとき、試験を受けたい国・地域にいませんが、どうしたらいいですか。

必ず、受験する国・地域の実施機関に申し込みをしてください。受験する国・地域によって申し込みの方法がちがいます。現地の実施機関に問い合わせてください。自分で申し込みができなかったら、受験したい国・地域の友だちや知っている人にたのんでください。

Q4 受験するレベルはどのように決めればいいですか。

6ページの「認定の目安」や、3ページの「新旧試験のレベルの対応」を見てください。
そのほか、日本語能力試験公式サイト(www.jlpt.jp)にのっている問題例からレベルを調べることもできます。

Q5 合格・不合格はどうやって決まりますか。

合格するためには、①総合得点が合格に必要な点(=合格点)以上であること、②各得点区分の得点が、区分ごとに設けられた合格に必要な点(=基準点)以上であること、の二つが必要です。一つでも基準点に達していない得点区分がある場合は、総合得点がどんなに高くても不合格になります。

各レベルの合格点と基準点は下の表のとおりです。(N1・N2・N3の得点区分は「言語知識(文字・語彙・文法)」と「読解」と「聴解」の3つ、N4・N5の得点区分は「言語知識(文字・語彙・文法)・読解」と「聴解」の2つです。)

レベル	総合得点		得点区分別得点							
			言語知識 (文字・語彙・文法)		読解		言語知識(文字・語彙・文法)・読解		聴解	
	得点の範囲	合格点	得点の範囲	基準点	得点の範囲	基準点	得点の範囲	基準点	得点の範囲	基準点
N1	0～180点	100点	0～60点	19点	0～60点	19点	—	—	0～60点	19点
N2	0～180点	90点	0～60点	19点	0～60点	19点	—	—	0～60点	19点
N3	0～180点	95点	0～60点	19点	0～60点	19点	—	—	0～60点	19点
N4	0～180点	90点	—	—	—	—	0～120点	38点	0～60点	19点
N5	0～180点	80点	—	—	—	—	0～120点	38点	0～60点	19点

Q6 試験の結果はいつ、どのようにもらえますか。

受験者全員に、合否結果通知書を送ります。また、合格者には各レベルの日本語能力認定書も送ります。時期は、海外の場合は、受験した都市の実施機関を通じて送りますので、第1回(7月)試験の結果は9月中旬、第2回(12月)試験の結果は3月上旬に受験者に届く予定です。その月が終わるころになっても届かない場合は、受験した都市の実施機関に問い合わせてください。

書籍のご案内

『新しい「日本語能力試験」ガイドブック概要版と問題例集 N1, N2, N3編』

●B5版、129ページ、CD1枚つき

定価：900円＋税

出版社：株式会社 凡人社

ISBN：978-4-89358-734-3

『新しい「日本語能力試験」ガイドブック概要版と問題例集 N4, N5編』

●B5版、87ページ、CD1枚つき

定価：800円＋税

出版社：株式会社 凡人社

ISBN：978-4-89358-735-0

注文・問い合わせは…株式会社 凡人社

TEL：＋81-3-3263-3959 FAX：＋81-3-3263-3116 URL：http://www.bonjinsha.com/

